

連日 35 度近くの灼熱地獄ですが、一昨日 (8/7) は二十四節気では「立秋」に当たります。

弱まりそうにもない暑さ、けたたましいクマゼミの声に、ただただ耐える毎日…でも今日以降の暑さは「残暑」ということになるのです…(-.-)

さて、

今回は、最近出会った「カエル」たちを紹介しましょう。

◆写真①～④： シュレーゲルアオガエル

◇変わった名前ですが、れっきとした日本固有種です。

◇何故、「シュレーゲル」なのでしょう？

他の在来種は「日本赤蛙」とか「森青蛙」、「殿様蛙」、「土蛙」など、ちゃんとした和名です。

さらには、アメリカからやってきた外来種でさえ「牛蛙」と命名しているのに…

◇どうやら、オランダのライデン博物館の「シュレーゲル館長」が関係しているらしいのです。

◇江戸時代の蘭学者であったシーボルトが、日本から標本を持ち込んだ先が当該館長だったみたいです。

◇シュレーゲル館長は、このカエルの鳴き真似が上手だったから、とか、二重アゴの顔がこのカエルに似ていたから、などと命名に関しては色々な噂もあるようです…

◇このカエル、モリアオガエルと同じようなメレンゲ状の卵塊を産むのですが、木の枝ではなく、畦に掘った浅い穴の中とか、湿地の草むらなどに生み付けるので、あまり目にする機会はないですね…

◆写真⑤： アマガエル

◇アマガエルの成体のようです。

◇前記「シュレーゲルアオガエル」の近くで見つけました。

◆写真⑥： トノサマガエル

◇体長7cmほどの“おおもの”です。

◇野外での寿命は4年くらいと言われているので、この個体も4歳くらいなんでしょうね…

◇金剛山頂付近の「ちはや園地」での撮影です。











